

長蓮寺報

NO.18 (平成25. 12. 20)

ご縁をいただいて

3年ほど前、これからのお寺のあり方に悩んでいた頃、「寺院の経営セミナー」と言う講座が名古屋で開催されると知り、参加してみました。そこで、講師の先生より「お寺のホームページ」の重要性をお聞きしました。お寺に帰り、早速ホームページを作成しようと、数社に見積もりを依頼したのですが、私の希望するホームページを作成費は50万円以上かかるとのこと。そこまでの予算が取れませんでしたので、仕方なく、自力で自分の出来る範囲でホームページを作成・運営することにしました。

(このため、長蓮寺のサイトは見づらいところが多々あると思います。ご容赦下さい)

約半年以上、あーでもない、こーでもないと試行錯誤の末、やっと本年春、正式に長蓮寺のホームページ(じょうれんじ.com)がやっと完成しました。

立ち上げ当初、皆様にご案内は差し上げたのですが、「インターネットは苦手」「若い人は見るんだけど・・・」等々のご意見も少なからずあり、不安で一杯でした。しかし、次第に、お寺に設置した掲示板との相乗効果や口コミなどから、現在、少しずつですが、ご相談やご依頼をお受けするようになりました。葬儀、納骨に関する事は勿論のこと。人生相談・水子供養・ペット供養など色々な問題を抱えて困っておられる方がたくさんおられます。また、老人施設などからも、法話のご依頼も頂けるようになりました。

今月も、特別養護老人ホームで40分程のお話をさせていただきました。今まではどうしてもお寺の中、宗派内でのお話が多く、宗派に則したお話を中心として話せば良かったのですが、このような場所では、ごく一般の入所者で高齢者を対象としたお話をしなければなりません。そうなんです。法華の方・一向宗の方など様々な宗派の方を対象としていますので、本当に難しいのです。この時は、丁度12月でしたので12月8日の成道会(おさとりの日)のお話とそれにまつわるお釈迦様の言葉をスライドで絵を見ていただきながらお話しさせていただきました。緊張しまくりで、本当にとりとめのない話ししかできませんでしたが、話の終盤には(一時の感情の高ぶりにせよ)涙ぐむ方もおられ、本当に良い機会を作っていただきました。また、お寺にご相談に来られる方にも、適切なアドバイスも出来ずに相談者のお話を聞くだけに終わることも多いのですが・・・帰り際に「チョット肩の荷がおりました。」と言って帰られるお姿を見送ると、とてもうれしくもあり、どうぞこの方々に、益々のシアワセが訪れますように！と願わざるをえません。

本来のお寺のあり方が、少しだけですが見えてきたような一年でした。

皆様にとって来る平成26年が幸多き年になりますように。

合 掌

平成26年 年忌表

1周忌 平成25年	17回忌 平成10年	37回忌 昭和53年
3回忌 平成24年	23回忌 平成4年	43回忌 昭和47年
7回忌 平成20年	27回忌 昭和63年	47回忌 昭和43年
13回忌 平成14年	33回忌 昭和57年	50回忌 昭和40年

長蓮寺の基礎知識 Q & A

Q：仏様にお供えするお花について
教えてください。



秋のお彼岸の時に、
「彼岸花を供えてはいけないと聞いたんですが、
本当ですか?」「造花は供えてはいけませんか?」

等々・・・お供えのお花に関するご質問を受けましたので、
この事について、お話したいと思います。

○供えてはいけないお花

「彼岸花」の事を彼岸の季節に咲くので=死人花(しにんばな)と言うし、毒も持っているから。「バラ」はトゲがあるから。「つばき」はポトンと花が落ちる(首が落ちるを連想させる)などして、このようなお花を忌み嫌う方もおられます。

しかし、基本的にこれらのお花も他の生花同様にお供えされてもOKです。



特に「彼岸花」は別名を曼珠沙華(まんじゅしゃげ)と言います。
『お経』の中にもお釈迦様が大切な教えを説かれた時、天からこの曼珠沙華(他に3種類アリ)が降り注がれたとあり、仏教では由緒正しいお花なのです。どんどん、お供えして下さい。

○造花は供えて良いですか?



仏様になぜ? お花を供えるのでしょうか?

以前の寺報(No12)にも書きましたが、お花を供えることで、心静かに落ち着く事が出来るからです。これは仏さまも私たちもです。

また、もう一つ理由は「生花」は私たちの世界そのものです。いつかは枯れてしまいます。私たちも生花も同様。命には限りがあるのです。

だから「この限りある命を精一杯過ぎなさいよ」とお示しになられた仏様のお言葉を守るためにも、永遠に枯れない「造花」では本来の意味をなしません。

出来るだけ「生花」をお供え下さい。

ココ 番外! 朝、ご仏壇に手を合わせ、生花を見ながら「心を落ち着かせ」 ご先祖の事を祈ると同時に、はかなさを感じ、今日一日 人間として何が出来るか? 考えてみましょう!
そして、……

「昨日より今日。今日より明日、少しでも人間らしい事が出来るようになりました」

「去年は出来なかったけど、人様に少し元気出せよと言えるようになりました」 などと仏様にご報告できるように!

行事報告（題目講法要）

6/2(日) 第135回題目講法要を盛会にて勤めさせていただきます。

この題目講は北陸教区各寺院が持ち回りで、開催する教区で最大の行事であります。長蓮寺では13年ぶりの開催でした。

朝9時頃から続々と参詣の方々がいらして開始30分前（10時開始）には満堂になりました。



お寺というと、広いように思われがちですが、ご存じのように長蓮寺はこじんまりしたお寺です。200名以上のお参りの方々に対応するようすることができません。そこで、御寺院方をお願いして、車庫に仮の寺院控室を作りました。御寺院様方には、本当に感謝しております。

前半、10時より開校式、10時半より講演90分間 勝桂子先生にご講演いただきました。勝先生は、ご自身の肉親を看取られた経験などを交えながら、これからの寺の活用法をお話しいただきました。昔のお寺は、「お弔い」の他、寺子屋であり、孤児院であり、職業安定所であり、集会所でもありました。また、「いまだ魂世界の話ができる場所」「死生観と向きあえる場所」でもあります。今後、「グリーンケア」など必ずお寺が必要とされます。ドンドン活用しましょう！との事でした。講演後の質疑応答にも、活発なたくさんの質問・意見が出され、内容の濃い講演になりました。



昼食をはさみ、12時半より「題目講」法要

この題目講法要では、毎年、各御寺院や題目講に貢献された方々を表彰いたしております。今年度は8名の方々が受賞されました。

2時より、僭越ながら私が説教させていただきました

内容は…

富山へ来て18年、様々なご縁をいただきました。その間、たくさんの仏心を持った方々に出会いました。お寺のあり方も、今 転換期を迎えております。

人はどうしても、不安になると自分を守ろうと保守的になりますが、行動無くしては仏教徒にあらず！常不敬菩薩さまや宮沢賢治さんを見習った生き方をしたい！

と自分自身への戒めも含めて、お話しさせていただきました。



午後3時 無事 全行程を終えました。

皆様檀信徒のお手伝いのお陰で、盛会にてつとめさせていただく事が出来ました。心より御礼申し上げます。



◎初詣は長蓮寺へ（新年祈願会）
平成26年1月1日午前10時～

◎節分会（豆まき）
平成26年2月2日（日）午前10時半～



明年の正月元日に新年祈願会、並びに2月2日に節分会（豆まき）を開催します
交通安全・家内安全・厄年・合格祈願・商売繁盛・無病息災・ぼけ封じ 等々
両日とも、厄除けの軽食をご用意しております。

この機会に是非 長蓮寺へお参り下さい。

尚、お札・祈願（お祓い）を希望される方は、別紙の申込用紙にご記入の上
お申し込み下さい。

◎猷久会 好調！



月に一度の月例会では、ミニ修行&お経練習を行っております。
最近「なんかモヤモヤする」、「悩みが絶えない」、「運が悪い事が
多い」等で、お悩みの方は
月例会の『唱題行』にて気分をリフレッシュしてみませんか？

初めての参加の方からも、「参加してスッキリした！」と喜ばれております。

月例会の予定は、別紙（長蓮寺行事予定表）にてご確認下さい。参加費無料です。

◎長蓮寺「ふれあい活動」「公開講座」



ふれあい活動「ハイキング」

本年のふれあい活動は、お天気に泣かされた時もありましたが、「室堂山ハイキング」や「海釣り」、「忘年会」等々を
開催しました。特に、初秋に行ったハイキングは、お天気にも恵まれ、十分に富山の大自然を満喫されたようです。

来年度も檀信徒の交流の場を様々企画予定です。

本年の「公開講座」は、
春彼岸に「延命治療」（四方クリニックの本郷先生）
秋彼岸に、「家族葬」（米原葬儀の米原由美子さん）を
講師にお迎えし開催致しました。

お二方ともわかりやすくお話頂き、檀信徒を問わず
多くの方に聴聞いただきました。

もし、「こんなお話を聞きたい！」などご希望がありましたら、気軽にお寺まで
御連絡下さい。



公開講座「お葬式のはなし」